日仏図書館情報学会《講演会》

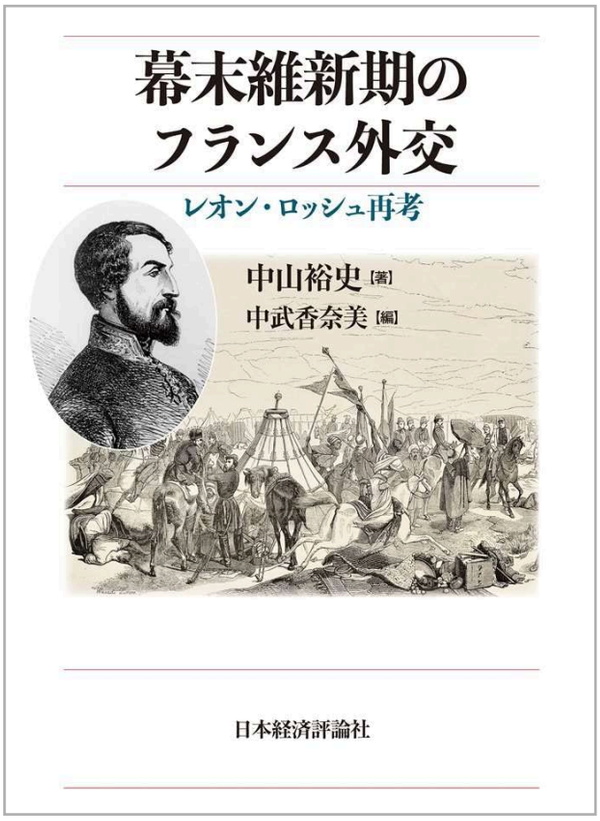
SFJBD

日仏関係史研究の新たな視点と史料・文献

中山裕史著『幕末維新期のフランス外交 レオン・ロッシュ再考』の編集を終えて

講師：中武香奈美 氏　前横浜開港資料館主任調査研究員

著者の中山裕史氏は本書の未定稿を残して2015年11月、病のため急逝しました。氏はパリ大学に留学し、フランスの対ロシア投資に関する研究で歴史学博士号を取得した経歴を持ちます。本書の副題にあるレオン・ロッシュとは、幕末に第2代駐日フランス公使として着任し、日本の近代化政策の一環である横須賀製鉄所（現・在日米軍横須賀海軍施設）の建設やフランス陸軍顧問団の招聘など積極的な幕府支援策をとったことで知られている人物ですが、氏は第二帝政期フランスの対外政策を多面的に検討し、ロッシュの対日外交をとらえ直そうとしました。編者の立場から、本書の研究の意義、および編集過程で得た経験、さまざまな史料・文献との出合いを紹介します。（講師記）



2022年7月16日（土）16時～18時

オンライン(Zoomミーティング)

参加申込み

こちら から

参加自由（定員100名）・参加無料

主催：日仏図書館情報学会

問合せ：sfjbibdoc@yahoo.co.jp

詳細：http://www.sfjbd.sakura.ne.jp/conferences.html